

地域の持続性に資する歴史文化の活用へ
～これからの時代にふさわしい文化財保存と活用のあり方～



文化庁 地域創生本部
総括・政策研究グループ 研究官
村上 裕道

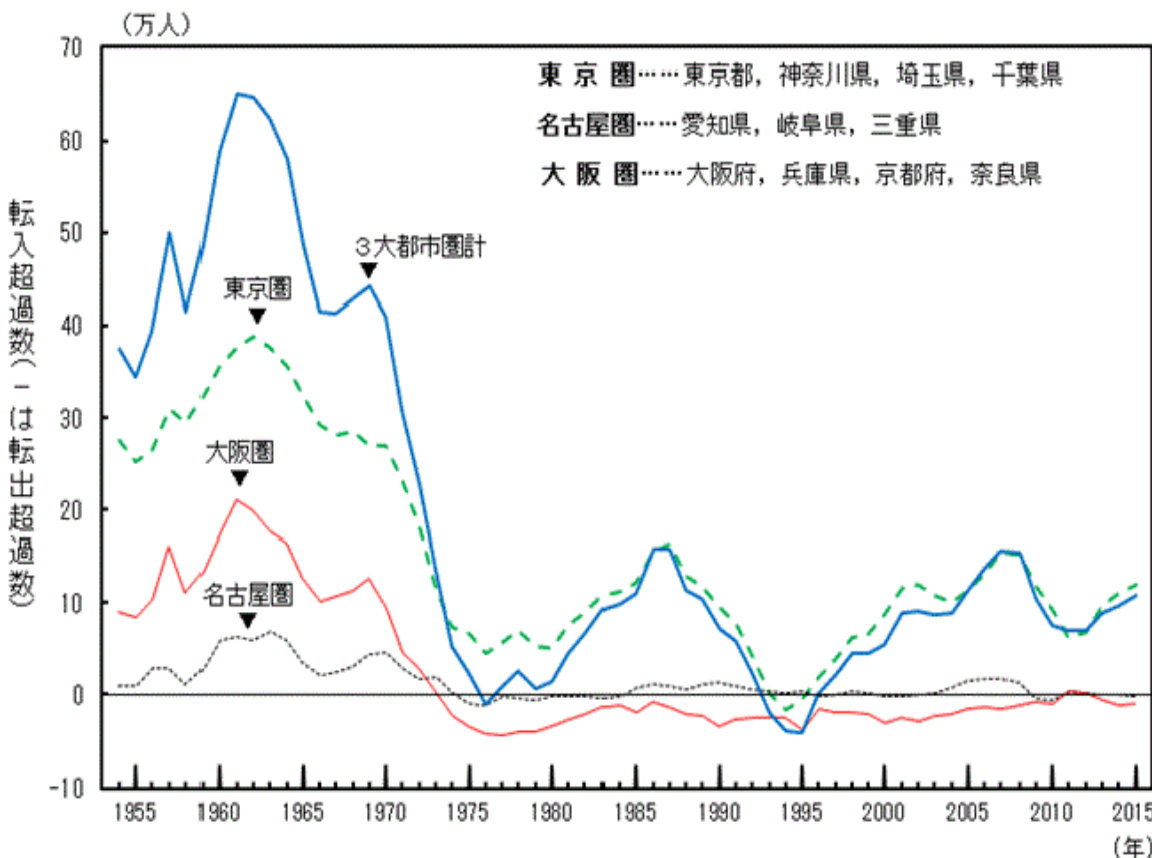
1 加速化する人口減少、地域偏在する人口

識者言「東京一極集中を国が誘導しているわけではない」 DBJ

時間的経緯 江戸時代には100万都市に成熟～世界有数の都市として発展

明治期には中央集権国家の都として「政治・経済・教育」の中核として形成
価値の改革が必要ではないか 長時間・色んな政治体制を乗り越えて形成されてきたものであり、一極是正の考えは、日本人の生活感の改変から考える必要があるのではないか。

3大都市圏の転入・転出超過数の推移（日本人移動者）（1954年～2015年）



グローバル・エコノミー(G.E.)の進展によるローカル・エコノミー(L.E.)の衰退

地方の中から吸い上げられた資金・人材がより収益性の高い投資先へ投資

G.E.の影響を受ける産業：大手製造業を中心に3割、残りの7割はL.E.の論理により業務展開

G.E.は今後もより進展、L.E.の存続方法とは何か

最近の政府の重要方針における文化関係の主な記述

経済財政運営と改革の基本方針2017(平成29年6月9日閣議決定)

第2章 成長と分配の好循環の拡大と中長期の発展に向けた重点課題

2. 成長戦略の加速等

(5) 新たな有望成長市場の創出・拡大

① 文化芸術立国

「文化経済戦略(仮称)」を策定し稼ぐ文化への展開を推進するとともに、政策の総合的推進など新たな政策ニーズ対応のための文化庁の機能強化等を図る。

2020年までを文化政策推進重点期間として位置づけ、**文化による国家ブランド戦略の構築と文化産業の経済規模(文化GDP)の拡大**に向け取組を推進する。

文化芸術活動に対する効果的な支援や子供の体験・学習機会の確保、人材の育成、障害者の文化芸術活動の推進、文化プログラムやジャポニスム2018等の機会を捉えた魅力ある日本文化の発信を進めるとともに、国立文化施設の機能強化、文化財公開・活用に係るセンター機能の整備等による文化財の保存・活用・継承、デジタルアーカイブの構築を図る。

また、我が国の誇るマンガ、アニメ及びゲーム等のメディア芸術の情報拠点等の整備を進める。

Ⅲ-3 地域経済好循環システムの構築（観光）

目指す姿

ヒト・モノ・カネ・データの活発な循環により観光産業の付加価値・生産性を高めるとともに、国内外の観光客が全国各地に分散。

今後の取組

モノ

【観光資源の保存と活用のレベルアップを図り日本の魅力を再発見】

- 魅力ある公的施設・インフラの大胆な解放
 - ・赤坂迎賓館・京都迎賓館において季節に応じた夜間開館の実施。赤坂迎賓館前の公園に、カフェ及び休憩機能、トイレ等を有する施設を整備。
 - ・桂離宮の1日当たりのガイドツアー回数・総定員を拡充。外国人専用の英語ガイドツアーを新たに実施。



- 古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進
 - ・地域の古民家等の歴史的資源を上質な宿泊施設やレストランに改修し、観光まちづくりの核として再生・活用する取組を、2020年までに全国200地域で展開。

- 国立公園満喫プロジェクト
 - ・「ステップアッププログラム2020」に基づき、公募等により民間事業者の知恵や資金を最大限活用し、上質なホテル誘致等の取組を実施。
- 新しい観光資源の開拓
 - ・伝統芸能やスポーツイベント等の多言語化や夜間開催等の取組を実施。



(阿蘇国立公園 環境省提供)

ヒト

【時代にあった人材の活用・育成】

- 通訳案内士法改正による地域ガイド制度の創設により幅広い主体による通訳ガイドを実現。
- 観光MBAの開設を通じた観光経営人材の育成により良質な人材を確保。観光産業全体を牽引。

カネ

【成長資金の供給】

- 地銀や官民ファンド等を通じた資金供給により観光地の再生・活性化を実現。

【地域の多様な関係者を巻き込んだ観光地域づくりの推進】

- DMO（観光地域づくりの舵取り役）の推進
 - ・地域の多様な関係者を巻き込みながら、ヒト・モノ・カネ・データを活用し、地域一体の魅力ある観光地域づくりや戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーションを実現。
 - ・情報・人材・財政金融支援の「3本の矢」による地域支援を実施し、2020年までに世界水準DMOを全国で100組織形成。全国各地の特色をいかした観光地を形成。



【キッズウィークの設定による休暇の分散】

データ

【データの活用による付加価値・生産性の向上】

- 都道府県別の入込客数、消費額に関する統計調査の本格実施により、観光客の動向を踏まえた戦略的なマーケティングを実現。
- データ分析に基づくマーケティングの実施や、外国人視点によるウェブサイト等のコンテンツの充実により、国別戦略に基づくプロモーションを展開。

変革後の生活・現場

多様な関係者を巻き込んだ、観光資源の磨き上げ、データの活用による効果的なマーケティングなどを通じて、全国各地で個性あふれる観光地が形成され、こうした魅力ある観光地を追い求める国内外からの観光客でにぎわっている。

空き店舗、遊休農地、古民家等遊休資産の活用

地方における遊休資産を活用することにより、都市・まちの生産性向上や地域の魅力を引き出し、地域の活性化を図る。

① 空き店舗の活用等による商業活性化

- ・ 空き店舗活用に積極的に取り組む地方公共団体・商店街を支援するため、地方創生推進交付金を含む関係府省による地域全体の価値を高めるための重点支援措置や、固定資産税の住宅用地特例の解除措置等に関する仕組みを検討し、年内に結論を得る。

② 遊休農地の活用

- ・ 既存施策に加え、農村地域への産業の導入の促進等に関する法律を活用し、優良農地を確保しつつ、農泊やサテライトオフィス、ICT、バイオマス、日本版CCRCなどの立地・導入を促進し、地方創生に資する取組に地方創生推進交付金等も活用することで、遊休農地も活用しつつ農村地域における雇用と所得の創出を推進する。

③ 古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり

- ・ 「歴史的資源を活用した観光まちづくり官民連携推進チーム」によるコンサルティング、料理人等の人材育成に取り組み、地方公共団体やDMO等への情報提供や支援、海外への情報発信を行う。あわせて、金融・公的支援のほか、規制・制度の改善を進める。
- ・ 2020年までに全国200地域での取組を目指す。

遊休資産を活用した特徴的な事例

【油津商店街（宮崎県日南市）】



「250mのシャッター通りに、4年間で20以上の新規出店を実現すること」をKPIとし、マネージャーを外部公募。現在26店舗がオープンし、商店街を再生。

【篠山城下町（兵庫県篠山市）】



篠山城下町において、国家戦略特区を活用し、4つの古民家を1つのホテルとして面的に利用した斬新な手法により古民家を再生。その結果、20名以上の移住者、50名近くの雇用を創出。

2 歴史文化の活かし方の整理

活用分野の整理

歴史文化遺産の活用の分野を二つの施策「地域づくり」と「ひとづくり」
四つの柱「地域おこし」と「まちづくり」、「学舎づくり」と「ふるさと観づくり」に整理

地域おこし 生野町 鉱石の道計画



「地域おこし」
観光振興や特産品開発などの地域の振興を図る分野

学舎づくり 兵庫県立考古博物館の展開



「学舎づくり」
子供たちが伝統文化を体験することを通して郷土意識を育むため、歴史文化遺産を利用した地域学習を想定

まちづくり 伊丹市 みやのまえ文化の郷



「まちづくり」
地域の景観形成に影響を及ぼす都市計画や農山村整備計画等に歴史文化遺産の観点を盛り込む連携方策

ふるさと観づくり 三田市



「ふるさと観づくり」
歴史文化遺産を地域学習に活かすことにより、地域のコモンセンスを醸成することを想定

地域おこし 篠山 NOTEのコンセプト

【ノオトの地域再生戦略】 歴史地区、芸術文化、生活文化、食文化、先端産業、文化観光の親和性を重視

人口減少、少子高齢化が進行する歴史地区（城下町、宿場町、集落等）を、地域の空き家と歴史文化を活かして再生。

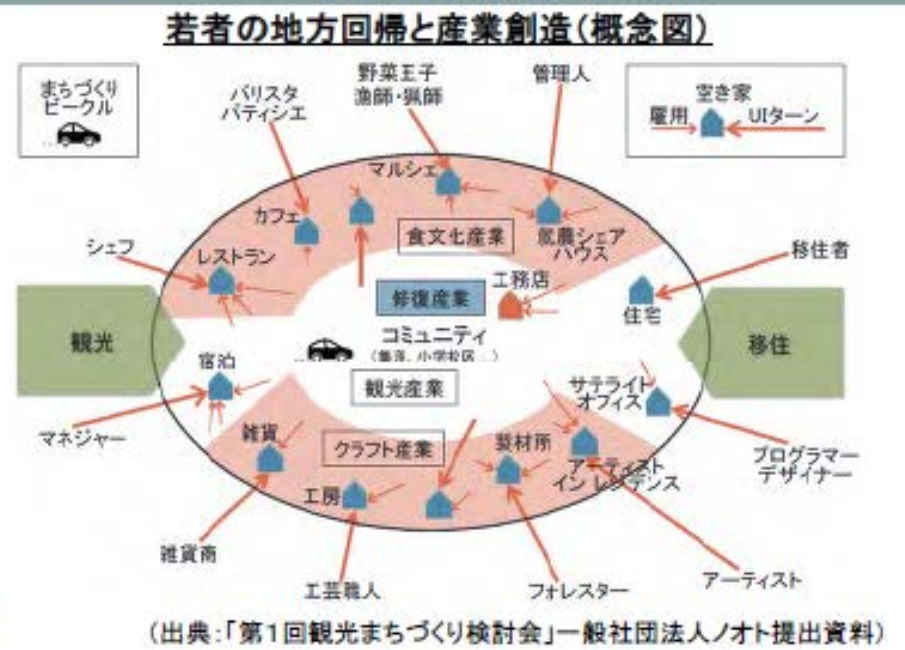
- ・古民家等の歴史的建築物と地域の食文化、生活文化を一体的に再生
- ・文化財や町並みを活用した音楽祭、アートフェス、マルシェのほか、プライダルやコンベンション等の事業を展開

建物	用途	事業者	分野
古民家等	カフェ、レストラン	シェフ、パティシエ	食文化産業
	工房、ギャラリー	工芸作家(陶芸、布、和紙、ガラス、彫金...)	クラフト産業
	宿泊施設	ホテル事業者	観光産業
	サテライト・オフィス	IT技術者、デザイナー	地域ICT産業
	(上のほか住宅等)	大工、左官、家具、茅葺職人など	修復産業

空き家の活用

若者の地方回帰

雇用と産業の創造



計画段階

量より質を重視した地域再生計画では、伝統的なものの見直し、磨きなおしが重要となる。

感性の豊かな者＋Sense of Placeを理解する企業家(住民)＋外部資金の組み合わせ感性を取り込んだ計画では、ESDに係る地域教育が欠かせない・・・時間が必要

世界文化遺産条約のCapacity Buildingのコンセプトが重要



実施段階

古民家等の新たな利活用には、既存施設へ現代的機能を付与することによりキャッチアップさせる必要 **相応の金額必要**

既存商業機関（銀行等）には、古民家再生等の文化的資産を活かした再生ビジネスを理解する融資担当者がいない。
ファイナンスに結びつかない 新たな事業が誘引されない

政府系政策投資銀行による融資（投資業務を行なう者による査定を通した融資）を呼び水として、地元銀行による融資等（地方の再生が銀行業の安定化に繋がるステークホルダー）により、歴史文化を活かした再生ビジネスのリスクの減衰を誘導する必要 **事業希望者への安定的資金提供システムの必要**

地域運営方式

集落丸山活性化経緯図

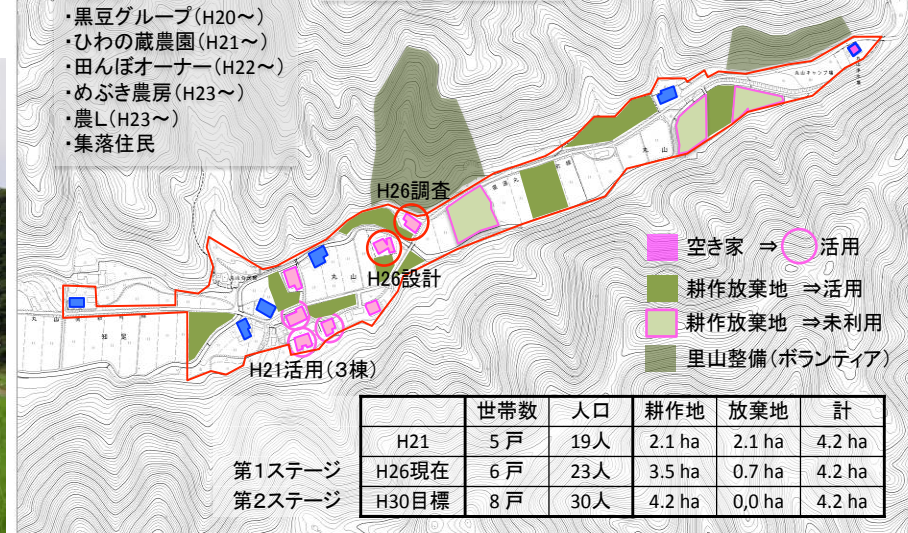
集落丸山

◎農地

- ・黒豆グループ (H20～)
- ・ひわの蔵農園 (H21～)
- ・田んぼオーナー (H22～)
- ・めぶき農房 (H23～)
- ・農L (H23～)
- ・集落住民

◎里山

- ・NPO法人日本森林ボランティア協会 (H21～)
- ・シカ柵ボランティア (H22)



初期投資額をおさえるには、
ミニмумインターベンションが基本



社会的機能を回復し建物に意義を与える
手法の開発が大事 一軒貸の旅館



限界集落で結婚式が催された
数十年ぶりで若人の門出を祝う
変わらぬ場所で愛の誓い



シェフは一流、フレンチレストランでジビエを満喫 ここだけの食材は美味
あ〜ん心



完全に停滞し、消滅を危惧していた集落の
人口が増加に転じ、耕作放棄地が既にゼロ
になる等、限界集落と呼ぶべきでない状況



おじいちゃんもがんばる集落へ。
元気な所には、NPO等の手が差し伸べら
れる。
里山対策のボランティア、レストラン、そ
ば店も入り、新たな農村風景が展開
NOTEのコーディネートが新たな生活ス
タイル デザインを生む。



Uターン若い人が宿泊施設
で地元のばあさんと働く

兵庫県篠山市

集落丸山

篠山城下町から北上した谷筋に
位置する限界集落を再生した古
民家の宿。集落内の築150年以上
の古民家2棟を改修した、古き良
き日本の農村の暮らしを体験する
宿泊施設。

活用提案型指定管理方式



史跡 竹田城跡下の町並み 緑色:再生施設

朝来市の文化財保護施策関連の取り組み

- 南但馬歴史文化ミュージアム推進計画の策定 平成17年3月 県民局
 - A 古代歴史資源エリア 和田山・山東
 - B 中世・近世歴史資源エリア 竹田
 - C 近世・近代歴史資源エリア 生野
- 古代歴史資源エリア
 - 茶スリ山古墳の保存・指定・整備 国(国交省・文化庁)・県・市教委
 - 茶スリ山古墳出土品の保存・整備・国指定 考古博(市へ譲与)
 - 埋蔵文化財センター建設 国庫・県費補助事業
 - 池田古墳の調査・整備・指定 考古博(市指定)
- 中世・近世歴史資源エリア
 - 史跡 竹田城跡の指定範囲の拡大
 - 竹田城跡下の寺群の登録文化財登録・修理 県費補助事業
 - 竹田城跡保存管理計画策定・石垣修理他実施中 国庫補助・県費補助事業
- 近世・近代歴史資源エリア
 - 生野鉱山「鉱石の道」調査 経産省・国交省委託事業
 - 県指定 御子畑鉱山事務舎保存修理 県費補助事業
 - 国重要文化的景観「生野鉱山」の調査・選定 国庫・県費補助事業

史跡 竹田城跡



兵庫県朝来市

旧木村酒造場EN(えん)

「天空の城」として知られる竹田城下町の約400年の歴史を持つ酒蔵を、「人と人の縁をとりもつ」をコンセプトに、ホテル、レストラン、カフェ、ショップ、情報館などとして改修した複合施設。

朝来市の考え

空屋対策:空家の共有利用への協力意向調査、将来計画の確立

維持対策:建物健康診断調査・建物耐用年数予測調査

仕事場対策:まちづくりに合うスモールビジネスの導入

歴史環境対策:美しい溝、歴史文化遺産、花や樹木等生活景の磨直し、交通計画・・・プロポーザル形式による高質なデザインの導入を希望

歴史文化ブランディング対策:朝来市全体からの市総合エリア戦略の組立・・・神戸新聞との協定による地域戦略の計画策定中

2004 歴史文化を活かしたまことミュージアムの計画

拠点の文化財指定によるブランディングを継続実施

グーグルのCMIにより来客者増加

朝来市は、史跡竹田城跡下の旧酒造場を買収プロポーザル方式による指定管理を導入

ファンド方式の事業形態



ミシュラン一星



篠山の町



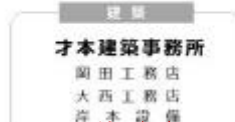
エリア プランナー



旅行関連企業



社会的企業



HM: 建築デザイナー他

地元銀行・政策投資銀行



クリエイティブデザイナー

集客の推進

株式会社一休(一休.com)と「NIPPONIA」事業において業務提携
目的: 一休の持つ厳選された宿への送客力と、地方における空家古民家を再生活用した宿泊施設を展開するNOTEとの連携により、地方創生を推進。

兵庫県篠山市
篠山城下町ホテル
NIPPONIA

約400年の歴史を持つ篠山城下町全体を「ひとつのホテル」と見立て、築100年超の古民家を含む、城下町に点在する4棟を宿泊施設、レストラン等として改修した、NIPPONIAのフラッグシップとなる宿泊施設。

ネーミング

「ニッポニア・ニッポン」日本を象徴する鳥と呼ばれるトキの学名です。トキも日本の歴史的な古民家やまち並みも、日本の大切な宝物だけど、大切に守り育てなければ消えていってしまいます。日本の歴史的なまち並みや暮らしを、ホテルとして生かし、未来へとつなげたい。そんな想いを込めて「ニッポニア」と名付けました。

アートフェス

建物修理説明会

NIPPONIAの修復関連企業

空き家再生の展開

主な事業

空き家活用事業 (◎:宿泊施設)	①転売方式	篠山ギャラリー-KITA'S	篠山市
	②サブリース方式	里山旬菜料理「ささらい」 イタリア家庭料理「Trattoria al Ragu」 暮らしのツーリズム「ささやまな家」 アンティーク「ハクトヤ」 影金・ジュエリー「応需細工所」 チャレンジショップ「よかちよる」 就農シェアハウス「小多田の家」 木工「NATURAL BACKYARD」 里山セミナーハウス「天空農園」 ◎豊田家(旧木村酒造場との一体運営)	篠山市
		◎古民家の宿「集落丸山」H21.10～	篠山市
		◎養蚕農家の宿「大屋大杉」H27.9～	養父市
		◎竹田城下町の宿「旧木村酒造場EN」H25.11～	朝来市
		◎オーベルジュ「豊岡1925」H26.4～	豊岡市
コンサルタント 業務	③地域運営方式	◎篠山城下町ホテル「NIPPONIA」H27.10～	篠山市
	④活用提案型 指定管理方式	職員住宅「旧畑中鍼灸院」	篠山市
	⑤ファンド方式	昭和三郎「西町ブリキ玩具製作所」 イタリア料理「CASA DEL AMICI」	篠山市
	その他	篠山市創造都市推進計画策定業務 H25	
		鶴岡市松ヶ岡地区地域再生計画策定業務 H25～ 八頭若松谷地域再生計画検討業務 H26～ 福岡町地域再生計画策定業務 H26～ 豊岡市地域プロデューサー(豊岡地区、但馬地区) H27～ 旧富本潔吉記念館(安堵町)再生業務 H27～	
	国家戦略特区関係	城崎温泉歴史的建築物活用検討業務 H26～ 「神戸建築データバンク」ムーア邸再活用方法提案業務 H26	

事業の解釈

人口旧減地区で**122人**の雇用者増につながっている。
ライフスタイルに共感した就職者が全国から来ている。
高学歴者も多い。工場誘致と異なる就業者グループ。
アントレプレナーの割合が多い、発想が柔軟い人が
増えた印象。

No.	コミュニティ			店舗名等	内容	事業 内容	従業 人数	事業手法	事業手法				開業 年月							
	自治体名	地区名 (市町村)	事業者名 (自治体名)						活動内容	地域 運営	サ ブ リ ー ス	フ ン ド								
1	篠山市	篠山	NPO法人 集落丸山	第1丸山	宿泊・非喫煙	◎ 1	地域運営方式	NOTE	◎	◎	◎	H21.10								
2					宿泊・喫煙	◎ 1	地域運営方式	NOTE	◎	◎	◎	H21.10								
3					宿泊・非喫煙	◎ 1	地域運営方式	NOTE	◎	◎	◎	H21.10								
4					宿泊・喫煙	◎ 1	地域運営方式	NOTE	◎	◎	◎	H21.10								
5				篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	第2丸山	加工・調理等(計画中)	◎ 1	地域運営方式	NOTE	◎	◎	◎	(未定)					
6								旅行サービス(計画中)	◎ 2	地域運営方式	NOTE	◎	◎	◎	(未定)					
7							上二階町	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山ギャラリー-KITA'S	伝統工芸ギャラリー カフェ	□ 4	販売方式	NOTE 町民研	◎	◎	◎	H22.3		
8										DASA DHI AMKI	イタリア料理	◎ 2	(事業費購入)	NOTE	-	-	◎	-	H26.11	
9										(篠山地下町ホテル)	フロント、サテライトオフィ ス、ショップ(計画中)	★ 6	ファンド方式	NOTE 町民研	◎	◎	◎	◎	(未定)	
10										ナチュラルバックヤード	ホスなど	★ 2	サブリース方式	NOTE	-	-	◎	◎	H24.10	
11							角原町	篠山	NPO法人 集落丸山	下立町	(元ボーラ化経路町)	住宅	★ 3	(個人購入)	町民研	-	◎	-	H25.5	
12											(元青井町)	住宅	★ 3	(個人購入)	町民研	-	◎	-	-	H27予定
13											ふるく	陶器ギャラリー	□ 2	販売方式	町民研	◎	◎	◎	◎	H20.2
14											西町	西町ブリック玩具製作所	ショップ(昭和レトロ)	◎ 2	地域運営方式	NOTE 町民研	◎	-	◎	-
15	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山地下町	篠山地下町ホテル	第1(5号)・第2(5号)	★ 4	ファンド方式	NOTE	◎	◎	◎	H27.10							
16					第3(5号)・第4(5号)	★ 4	ファンド方式	NOTE	◎	◎	◎	◎	H27.10							
17					篠山地下町	第5(5号)・第6(5号)	★ 4	サブリース方式	町民研	◎	◎	◎	◎	H22.10						
18					第7(5号)・第8(5号)	★ 4	サブリース方式	町民研	◎	◎	◎	◎	H22.3							
19				下河原町	篠山	NPO法人 集落丸山	下河原町	日あめや	ガラス製品	□ 1	(事業費購入)	町民研	◎	◎	◎	H22.3				
20								ハクタク	アンティーク	□ 8	サブリース方式	NOTE	-	-	◎	◎	H22.4			
21								1階:toneway 2階:ささやまの家	アートカフェ 観光交流拠点	◎ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H20.11→H24.8 H24.7→H27.5			
22								2階:ささやまの家	観光交流拠点	◎ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H25.10			
23				上河原町	篠山	NPO法人 集落丸山	上河原町	日あめや	ガラス製品	□ 1	(事業費購入)	町民研	◎	◎	◎	H22.3				
24								ハクタク	アンティーク	□ 8	サブリース方式	NOTE	-	-	◎	◎	H22.4			
25	1階:toneway 2階:ささやまの家	アートカフェ 観光交流拠点	◎ 2					サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H20.11→H24.8 H24.7→H27.5						
26	2階:ささやまの家	観光交流拠点	◎ 2					サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H25.10						
27	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	日置	ささやま・とあつ	地産食材の創作料理 プリン、洋菓子など	★ 4	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H23.3							
28					ワークショップ等	料理教室など	◎ 1	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H23.3						
29					mokono	地産食材の活用など	◎ 1	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H23.3						
30					日置ストリート	観光交流拠点	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H23.3						
31				八上	篠山	NPO法人 集落丸山	八上	日置食文化研究所	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12				
32								研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9			
33								研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9			
34								研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9			
35				篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12				
36								研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9			
37	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2					サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
38	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2					サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
39	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
40					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
41					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
42					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
43	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
44					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
45					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
46					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
47	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
48					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
49					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
50					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
51	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
52					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
53					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
54					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
55	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
56					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
57					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
58					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
59	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
60					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
61					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
62					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
63	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
64					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
65					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
66					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
67	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
68					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
69					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
70					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
71	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
72					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
73					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
74					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
75	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
76					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
77					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
78					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
79	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
80					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
81					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
82					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
83	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
84					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
85					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
86					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
87	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
88					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
89					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
90					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
91	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
92					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
93					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
94					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
95	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
96					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
97					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
98					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
99	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
100					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
101					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
102					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
103	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
104					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
105					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
106					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
107	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
108					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
109					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
110					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
111	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
112					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
113					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
114					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
115	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
116					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
117					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
118					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
119	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
120					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
121					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
122					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
123	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	H25.12							
124					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
125					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
126					研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス	★ 2	サブリース方式	NOTE	◎	◎	◎	-	H24.9						
127	篠山	篠山	NPO法人 集落丸山	篠山	研究開発・シェアハウス	研究開発・シェアハウス														

まちづくり 姫路市 地域夢プラン

1 地域夢プランとは

地域住民が中心となって、自分たちが住んでいる地域の歴史・文化・自然・伝統などの地域資源を掘り起こし、その価値や素晴らしさを見つめ直し、そうした地域資源を用いて地域の新たな魅力を創出することで、地位の誇りや愛着を醸成するとともに地域の代名詞として、未来へ引き継ぐ考え。

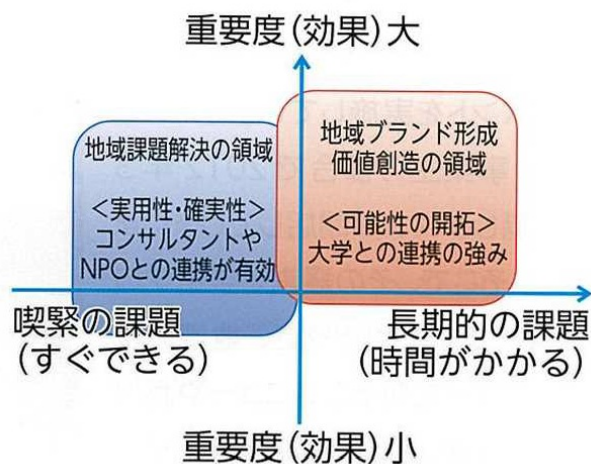
姫路市では、中学校単位で、平成16年から「夢プラン」を策定、市は同プランに基づく地域の取り組みを支援。

2 地域資源とは

次に掲載するものを地域資源と位置づけ、市内全域で1800件を掘り起こした。

歴史	遺跡・史跡・神社・仏閣・歴史的建造物・歴史上の名所・人物など
文化・伝統	祭り・伝統行事・伝統芸能・昔話・民話・郷土料理など
自然・景観	里山・河川・海・池・森林・花・生物・景色・町並みなど
産業	農業・漁業・商業・地場産業・伝統工芸・特産品など
施設	学校・公園・道路・家・商店・工場など
その他	著名人など

- 1 地域夢プラン策定 H16～19
市担当職員を配置
- 2 同ソフト事業 H17～20
実行委員会の組織化 250～350万円の助成
- 3 同応援事業 H18～22
1/2 3年間の助成
- 4 同展開事業 H21～25
自立のための50万円の助成

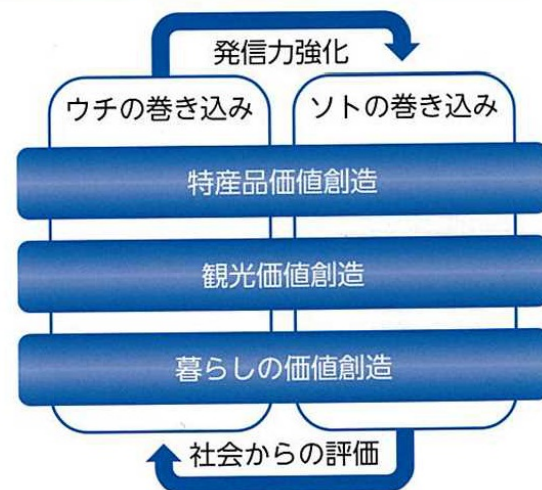


価値の創造は時間がかかる
長時間の連携ができる機関を選択



求める豊かさの内容が変化 場が重要に
価値創造のためには、場の豊かさが必要

地域資源活用の特色化と地域ブランドの形成



多種多様な緩やかなネットワークが
価値創造の伝播に必要不可欠

世界文化遺産 姫路城(大天守)の修理を契機とした活性化策

年度 月	平成 21 年度				平成 22 年度				平成 23 年度				平成 24 年度				平成 25 年度				平成 26 年度			
月	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
見学等	喜斎門通過不可 11/16 ~ 12/30				内部登閣不可 (4/12 ~)				内部 3 階以上登閣不可				内部登閣不可 (11/1 ~)											
	搦手口からの登閣休止 (11/16 ~ 事業終了)												素屋根内見学可								喜斎門通行不可			

昭和39年修理の経験
 見学者 20万人を下回る
 住民からのクレーム多数発生

平成修理
 修理中も貴重な見学の機会を提供
 常時公開 見学施設の併設
 184万人の見学者を確保

特別史跡姫路城跡周辺活性化サポート事業
 年間 200事業の実施



エレベーターに乗って間近に見学



修理中



2016年4月6日



2015年3月26日 竣工式



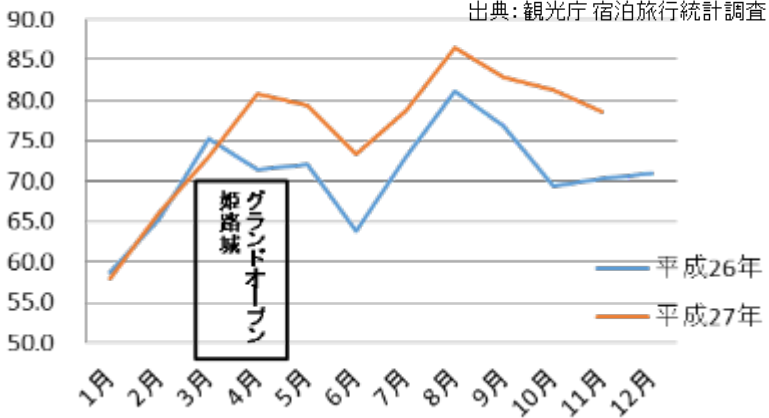
仮設計画図

姫路城及び周辺入場者数

	姫路城周辺								
	姫路城		動物園	美術館	歴史博物館	姫路文学館	好古園	大河ドラマ館	小計
	全体	内外国人							
H18	900	130	414	109	18	46	187	-	1,674
H19	1,023	161	418	68	212	44	209	-	1,974
H20	1,195	166	758	110	225	58	245	-	2,591
H21	1,562	157	400	74	185	64	279	-	2,564
H22	458	79	341	50	82	96	125	-	1,152
H23	611	35	408	71	96	93	95	-	1,374
H24	711	49	330	70	77	135	114	-	1,437
H25	881	57	333	69	97	75	134	114	1,703
H26	919	83	487	79	119	71	198	490	2,363
H27	2,867	306	759	119	107	27	523	-	4,402
合 計	11,127	1,223	4,648	819	1,218	709	2,109		21,234

(単位: %) 姫路市内宿泊施設の客室稼働率

出典: 観光庁 宿泊旅行統計調査



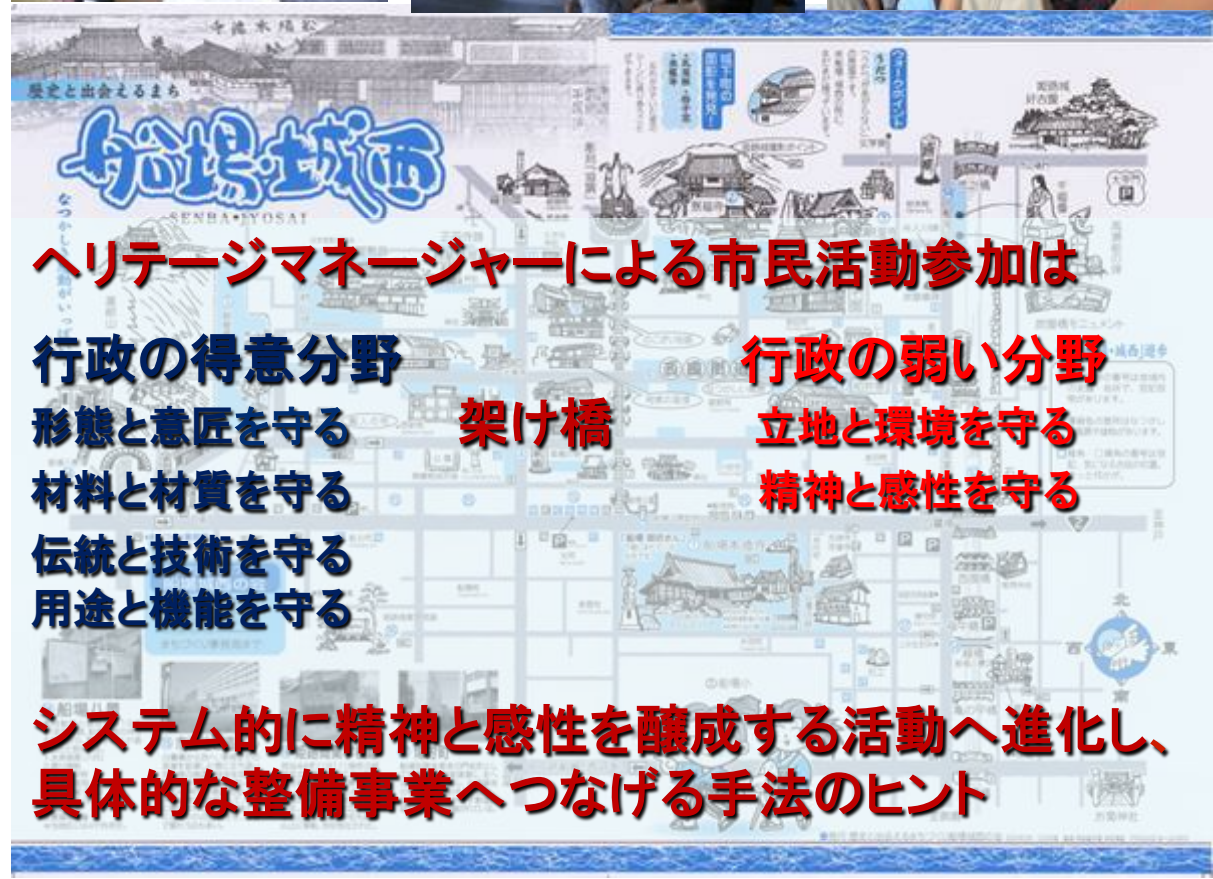
平均入場者数 90～100万人
平成27年度 286万人

姫路城大天守工事期間中のイベント

B-1グランプリ	51万人	経済効果	40億円
三ツ山大祭	65万人		
官兵衛プロジェクト	150万人	同市内	120億円
		同県内	243億円
竣工後		同市内	424億円
		同県内	615億円

NPOによるまちづくり市民活動

県教委：専門人材(HM)育成＋姫路市：まちづくり市民活動組織の育成



県博物館協会主催ミュージアムフェア

歴史と出会うまちづくり船場城西の会ブログより作成

学舎づくり ふるさと感づくり 大森銀山重要伝統的建造物群保存地区

大森代官所跡上空から大森の町並みと銀山「仙ノ山」を望む
提供：大田市教育委員会



「鉱山町」は「大森銀山重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、その中には重要文化財「熊谷家住宅」、「代官所跡」、「羅漢寺五百羅漢」、「宮ノ前」などがある。

代官所跡



代官所地役人
旧河島家



兵庫県立考古博物館、兵庫県猪名川町教育委員会が2015年11月15日に開催した「国史跡指定記念シンポジウム「多田銀銅山—遺跡の価値を活かしたまちづくり・ひとづくり—」で大田大田市教育長が発表した際の原稿・資料を基に作成

大森銀山重要伝統的建造物群保存地区の人口調査

項目		国勢調査に基づく		住民基本台帳
		S60 (1985)	H22 (2010)	H28年4月
大田市人口	人	38,242	37,990	36,421
大森町人口	人	583	405	407
大森町世帯数		229	185	189
人口構成	0～4歳	28	14	236
	5～9	39	16	
	10～14	24	10	
	15～19	17	12	
	20～24	13	11	
	25～29	15	28	
	30～34	32	17	
	35～39	39	17	
	40～44	21	10	
	45～49	22	18	
	50～54	51	27	171
	55～59	56	33	
	60～64	42	37	
	65～69	52	32	
	70～74	56	29	
	75～79	43	39	
	80～84	19	32	
	85～	14	23	
大森町65歳以上		31.6%	38.3%	42.0%
大田市65歳以上		17.9%	34.6%	37.8%
就業状況	就業者数(人)	251	192	
(カッコ内は%)	第1次産業	15 (6.0)	5 (2.6)	
	第2次産業	96 (38.2)	55 (28.6)	
	第3次産業	140 (55.8)	132 (68.8)	

重伝建地区の取組は地域再生の有効なツールと確信

重伝建地区の人口が増加に転じている。

選定時空家数 40件 現在空家数 20件
空家数が減少している。

H22の25歳から29歳の人口の増加が、現在過程を形成、子どもを産み若年者の増加へつながっている。

地元企業 (株)石見銀山生活文化研究所、中村プレイス(株)への就職による若者の吸引力を評価する必要

- 1 重伝建地区選定：S62 (1987) 12月5日
- 2 追加選定：H
- 3 上記数字は、大森町全体をさす。
当初選定の伝建地区は7自治会、追加選定により1自治会が増え、現在の地区外は1自治会(上佐摩上)となっている。
このため、便宜上、全町を比較対象としている。
S60とH22を比較すると総じて人口は減少しているが、25～29歳は増加している。
- 3 これは、地元企業2社(中村プレイス㈱、㈱石見銀山生活文化研究所)の従業員が定住していることが要因と考えられる。
- 4 65歳以上人口比率の上昇は団塊の世代が大きく影響している。

持続可能な地域経営に向けて

石見銀山協働会議

世界遺産登録を前にどう備え、どう活用していくか、行政と住民のおよそ200名でワークショップを行い、石見銀山行動計画をまとめた。保全、活用、情報発信など、現在もその計画に沿って取り組みが進められている。このワークショップはNPO「石見銀山協働会議」となって活動を継続中。

石見銀山基金

行政事業だけに頼らず、かつ民間活動を支援しようと基金を設け、民間と行政の折半と制度設計をして、3億8千万円ほどができ、税法上の優遇策を設けるために市基金としているが、助成先や助成基準などはNPOや市民参加で案を追認している。
文化財修理の所有者負担分について高率助成をし、修理に資している。

地域学習

世界遺産の価値を長く、広く伝えようと、まず小中学校での石見銀山学習を始め、現地学習の費用（バス代）は石見銀山基金で全額を賄う仕組みとした。市内のほぼ全小中学校で年1回銀山の現地学習を行い、校区内の文化財などとの関連を調べる学校も出てきている。世界遺産学習全国サミットでの発表や地域での発表も行われており、修学旅行で訪れる広島の世界遺産との比較学習なども取り組まれている。

石見銀山協働会議・地域学習

「石見銀山協働会議」のワークショップの様子



民間と行政が協働して石見銀山の保全・活用を目指す。
提供：大田市教育委員会

石見銀山世界遺産センターにおける現地体験学習の様子
提供：大田市教育委員会

現在、小中学校での授業実践を踏まえ、副読本の刊行作業が進んでいる。



持続可能な地域経営に向けて取り組みの成果

①	世界遺産登録を目指すことによって、500ヘクタールを超える範囲が国指定（選定）の文化財となった。登録前には、鉱山には鉱業権があるなど文化財への指定は困難であったが、世界遺産登録を目指すことでその課題は解決に向かった。
②	街道、港の集落、山城など、単体では価値付けや指定同意が得にくい文化財の指定や修復が可能となった。
③	世界遺産への登録を目指すことで、周囲の道路整備、上水道、電線類の地中化が叶った。
④	来訪者が急増したことによって駐車場整備もなされ、一方で 住民と行政の協議・話し合いも進んで、まちづくりのきっかけが出来た。
⑤	「 石見銀山スタイルの観光 」は当初、観光客の急増でなかなか理解が進まなかったが徐々に理解され、歩く（服装、靴）、自転車に乗る、ガイドしてもらうなど定着した。
⑥	来訪者も登録後に減少したとはいえ登録前からすると倍以上であり、かつ 滞在時間も伸び、飲食店、貸自転車など地元事業者も増え、休日などには賑わいがあり、雇用の場もできた。
⑦	地域に残る若者やUターン者、Iターン者、地域活動サークルや銀山全体に係るNPOも結成され、活動が続いている。



市内で観光者相手に駐輪しているレンタル自転車のタイヤを片っ端からパンクさせるなんてこともしている。また、新しくホテルが建設されているポブレ・ナウ地区で観光者がホテルから出て来たところで彼らを罵ったり、市内でキーポイントになっている場所で目立つ壁をつくり、そこにグラフィティで「**Tourist go home**」と落書きをするなどしている。問題はそれが一度だけの出来事では終わっていないということである。

「観光地化の是非」を巡り割れる地元世論

アラン組織の親とでも判断されているCUPは、大規模に発展させる観光業には極力反対している極左寄りの政党だ。彼らは観光業を市営化することを提案している。そこで上げる利益を共有させるという考えを持っている。アラン組織によるヴァンダリズムに憤りを感じているカタルーニャの経営者はポピュリズム政

党から2015年にバルセロナの市長になったアダ・コラウにアランが犯している犯罪に断固たる態度で彼らを非難することを要望している。これまで築き上げた観光事業の成長を失う可能性があるからである。

しかし、彼女自身は**市長になる時に、現在のバルセロナが無秩序に観光都市化されたと批判して、今後は統制化されたプランを基に発展させる必要がある**という考えを表明していたのだ。その具体化として、バルセロナの主要地区でのホテルの建設を禁止し、旧市街の歴史的遺産が残された地区では観光客へのサービスに繋がる営業店の開設も禁止したという前例を持つ市長である。その市長が観光事業に関係している企業経営者の要望をどこまで受け入れるか関心がもたれている。

ヴァンダリズムが拡大してバルセロナの観光業の発展を脅かすのと併行して、カタルーニャの発展を阻む独立問題が現在注目されている。

文明の衝突が危惧される時代、文化芸術により、文明への融和策を提示する使命がある。

第一 趣旨

1. 文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策を法律の範囲に取り込むこと

2. 文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用すること

文化芸術自体の振興策を考えるフェーズから、文化芸術の振興による観光、まちづくり、福祉、教育等への実効性のある貢献策を提示しなければならないフェーズに入った。

これからの時代にふさわしい文化財の保存と活用の在り方について (文化財保護法改正に向けた検討)

参考資料3
(6月1日第1回
企画調査会資料5)

- ・ 5月19日、これからの時代にふさわしい文化財の保存と活用の方策の改善等について諮問。
- ・ 6月1日、文化審議会に調査会を設置。以下の事項などについて検討開始
⇒ **8月末に中間まとめ、11月までに取りまとめ、次期通常国会**での法案提出を目指す

文化財の一体的活用と地域振興に向けた制度改革

現状と課題

- ・ 個々の文化財を点として保存
- ・ 地域の文化財の一体的活用が不十分
- ・ 周遊ルート設定や解説整備など観光振興などとの連携、景観まちづくりとの連携等の円滑化
- ・ 公開活用の主体が手薄、所有者任せ
- ・ 持続可能な公開活用のノウハウ不足 等

目指す姿

地域の文化財に関わる民間・行政が共働できる枠組みを構築

- 民間事業者などが文化財活用に参画
- 地域振興、景観まちづくり等と連携した取組
- イベントや文化財のユニークな活用、保存活用の好循環など

⇒ 文化財の潜在力を引き出し、地方創生・観光振興等へつなぐ

必要な枠組みイメージ

地域の関係者の
連携促進

自治体、所有者、民間事業者等の連携の仕組み

計画的・一体的な
取組の推進

地域一体での文化財の活用や関係施策との連携

各文化財の保存活用の取組強化

民間の活力引き出し

- ・ VRや高精細レプリカなど新たな技術との融合促進 等

参考事例

兵庫県篠山市 歴史文化を活かしたまちづくり

- ・ 歴史文化基本構想の策定（H23）：未指定の文化財を含む全ての文化財を「歴史文化まちづくり資産」として位置づけ、積極的なまちづくりへの活用
→ 資産を集落別に整理した「カルテ」作成
→ 地域の協議会等によるまちづくり事業への助成 など
- ・ 古民家活用に取り組む民間団体（一般社団法人ノオト）
→ 空き家と歴史文化を活かして集落や城下町を再生
→ 関係自治体・金融・民間企業・地元新聞社などの地域資産活用協議会を組織

最近の文化財保護のあり方検討 歴史文化を活かしたまちづくりの推進施策

歴史文化基本構想(H19～)

文化財を核として、地域全体を歴史文化の観点から捉え、各種施策を統合して歴史・文化を活かした地域づくりを進めるための地方公共団体の基本的な構想。
(H19文化審議会企画調査会で提言)

【策定件数】 57計画 (60市町村) H29.3時点

【構想に記載する事項(例)】

- ・ 地域の歴史文化の特徴
- ・ 文化財把握の方針
- ・ 保存・活用の基本方針
- ・ 関連文化財群
- ・ 歴史文化保存活用区域
- ・ 保存活用計画作成の考え方
- ・ 保存活用の体制整備の方針

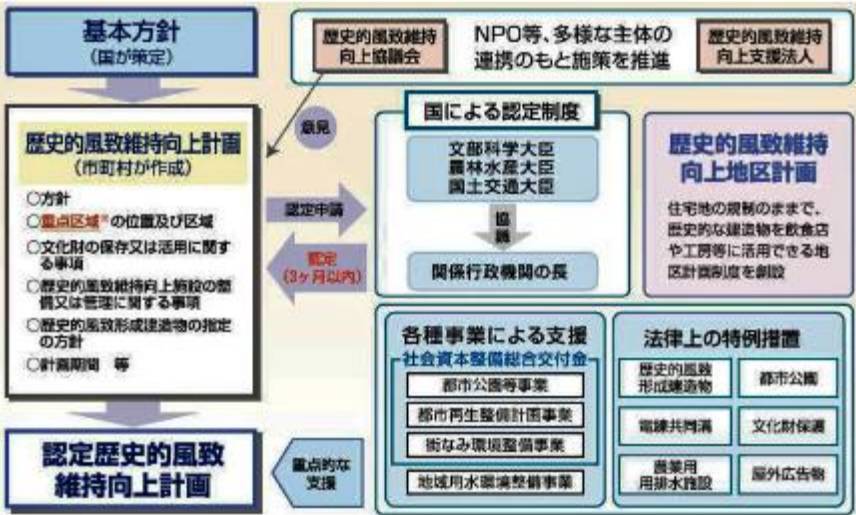


(文科省・国交省・農水省の共管) 歴史まちづくり法(H20～)

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」

地域固有の歴史・伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的建造物等が一体となって形成する良好な市街地の環境である「歴史的風致」を保護。

【認定件数】 62件 H29.3時点



(※) 重要文化財建造物等の周辺など

日本遺産(H27～)

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定。認定地域の魅力発信等を推進。

歴史文化基本構想策定又は歴史的風致維持向上計画の認定などが認定申請の要件(複数地域による「シリアル型」を除く)。

【認定件数】 54件 H29.5時点

【認定ストーリーのポイント】

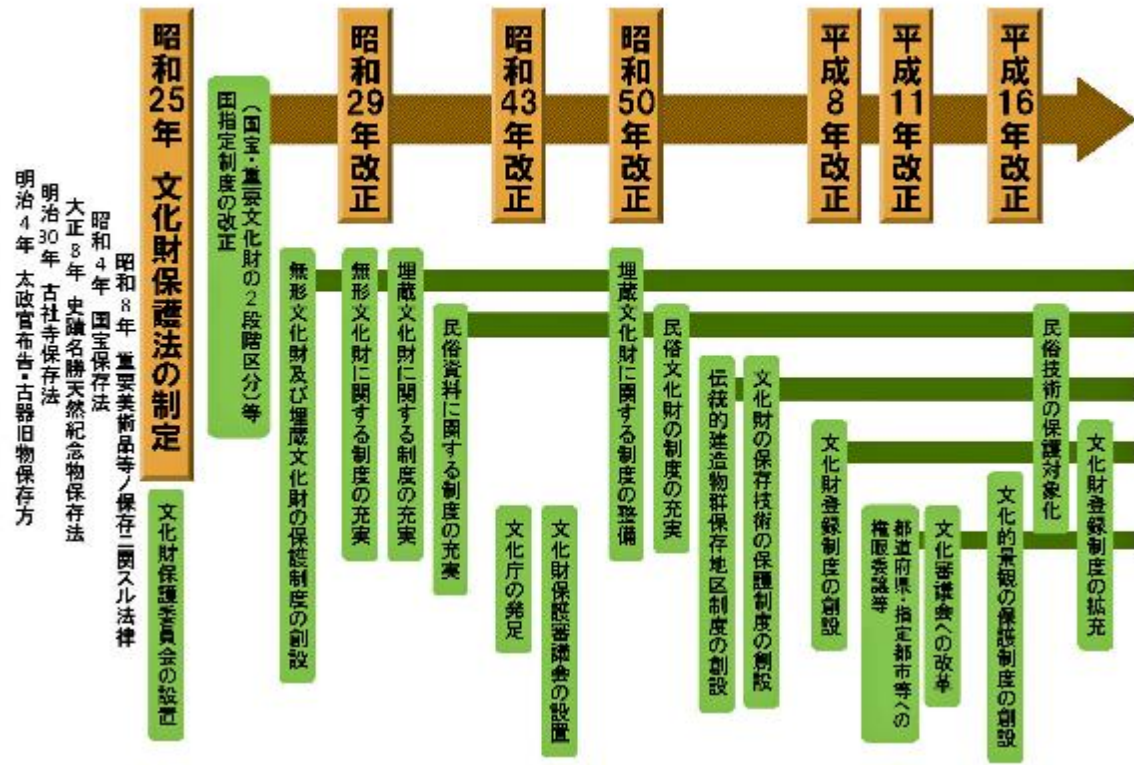
- ・ 歴史的経緯や地域で受け継がれる伝承・風習等を踏まえていること
- ・ ストーリーの中核に明確なテーマを設定し、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
- ・ 単に文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。



重要文化財の所在市町村

	都道府県	市区町村総数	所在市区町村数	割合
	北海道	179	12	6.70%
	青森	40	9	22.50%
	岩手	33	8	24.24%
	宮城	35	9	25.71%
○	秋田	25	12	48.00%
	山形	35	12	34.29%
	福島	59	19	32.20%
○	茨城	44	20	45.45%
○	栃木	26	11	42.31%
○	群馬	35	14	40.00%
	埼玉	63	17	26.98%
	千葉	54	19	35.19%
	東京	62	20	32.26%
	神奈川	33	8	24.24%
◎	新潟	30	15	50.00%
	富山	15	5	33.33%
◎	石川	19	12	63.16%
◎	福井	17	11	64.71%
◎	山梨	27	14	51.85%
○	長野	77	31	40.26%
○	岐阜	42	17	40.48%
◎	静岡	35	18	51.43%
○	愛知	54	24	44.44%
	三重	29	8	27.59%
◎	滋賀	19	19	100.00%
◎	京都	26	20	76.92%
○	大阪	43	21	48.84%
◎	兵庫	41	24	58.54%
◎	奈良	39	24	61.54%
◎	和歌山	30	16	53.33%
○	鳥取	19	9	47.37%
◎	島根	19	11	57.89%
◎	岡山	27	16	59.26%
○	広島	23	11	47.83%
◎	山口	19	12	63.16%
	徳島	24	8	33.33%
◎	香川	17	9	52.94%
◎	愛媛	20	14	70.00%
	高知	34	12	35.29%
	福岡	60	15	25.00%
	佐賀	20	7	35.00%
△	長崎	21	8	38.10%
○	熊本	45	20	44.44%
◎	大分	18	11	61.11%
	宮崎	26	7	26.92%
	鹿児島	43	7	16.28%
	沖縄	41	12	29.27%
	計	1,742	658	37.77%

【参考】文化財保護法の変遷

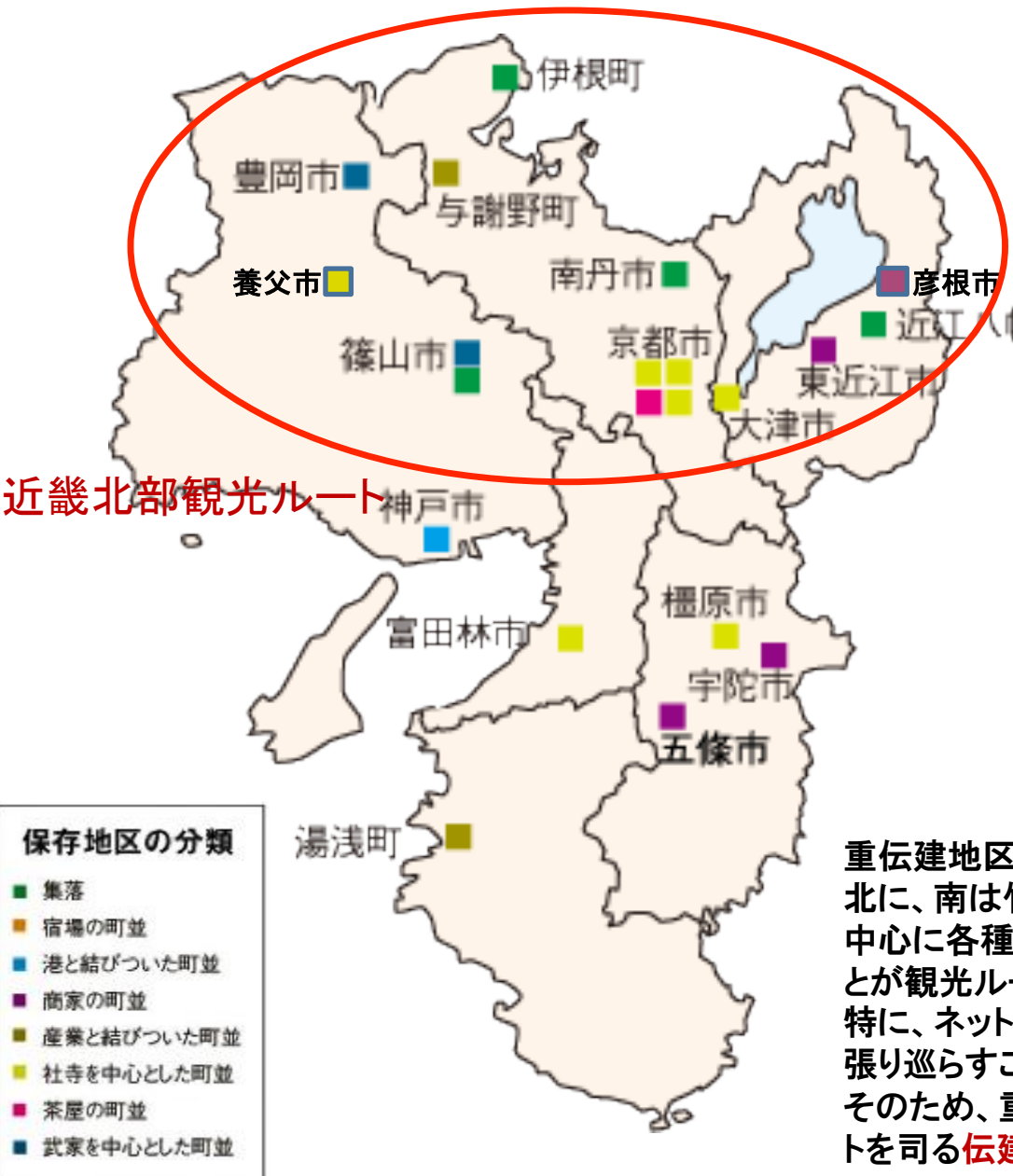


重要文化財(建造物)に着目すると、明治30年(1897)以来、120年をかけても、37.77%の市町村にしか、重要な文化財建造物は無いことをオーソリティは指摘。**専門分野の視点では限界がある。**

各分野を横断した総合的な視点により組み立てる計画により、**市町村の関与率の引き上げ**を考えることが重要

国登録制度(活用を中心とした保護制度)に軸を移す必要
過去から現在までの文化を総合的に表現することが重要

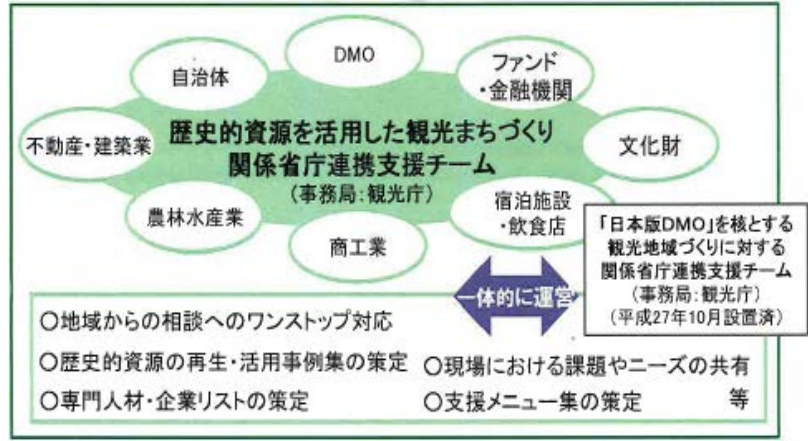
重要伝統的建造物群保存地区を中心として繋ぐルート開発



近畿北部観光ルート

観光庁: 観光地魅力創造事業
景観まちづくり刷新支援事業
文化庁: 日本遺産・重伝建地区
国交省: 歴史まちづくり各種支援事業

※ これらを重ね合わせて、ルート開発
都道府県 95市町村 115地区



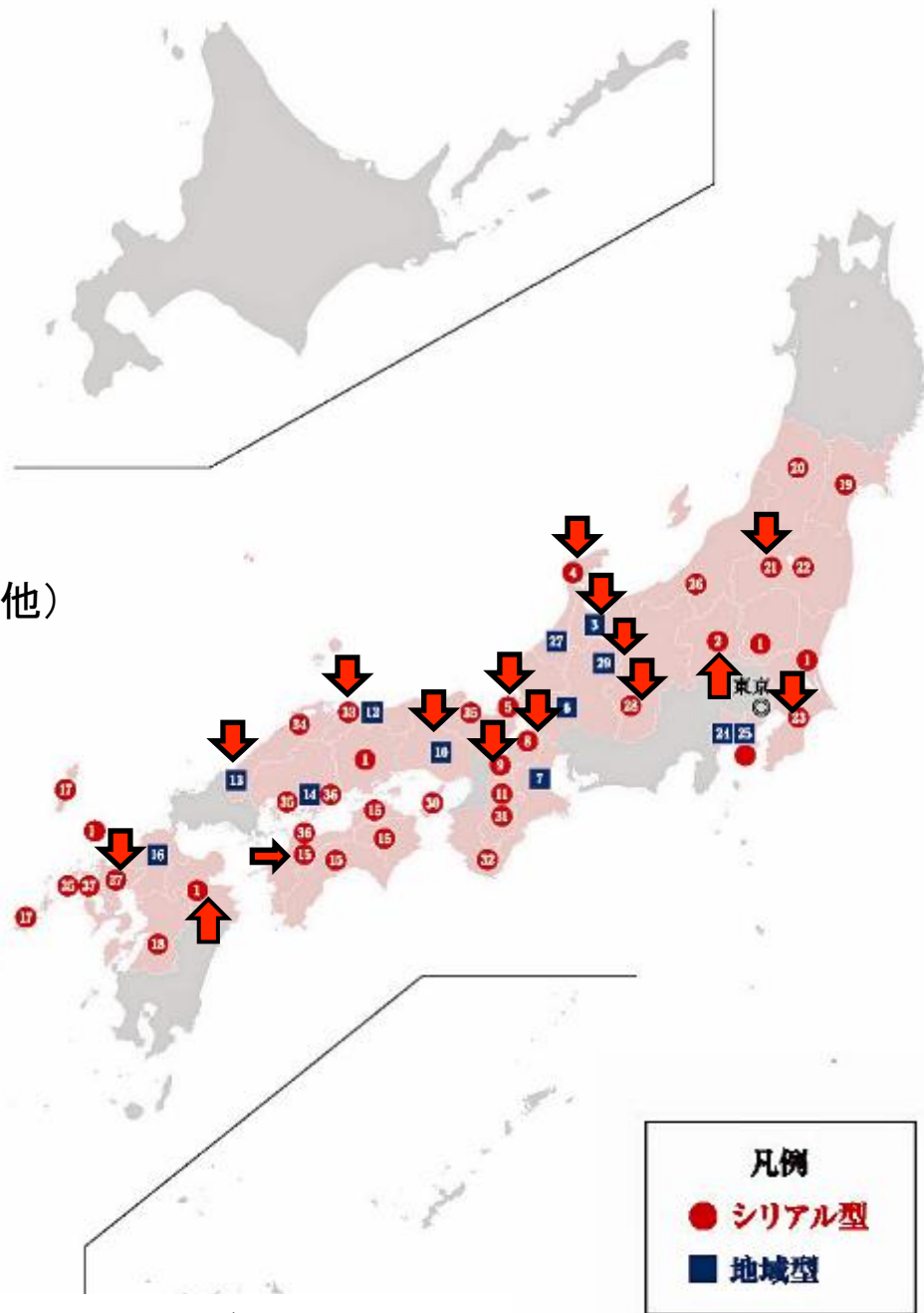
重伝建地区は、全国115か所が選定されている。函館市を最北に、南は竹富町まで全地方に展開しており、重伝建地区を中心に各種認定地・指定文化財等とネットワークを形成することが観光ルートの形成に有効である。特に、ネットワークのハブとなる京都から四方にスポークを張り巡らすことが重要である。そのため、重伝建地区を中心したネットワークのマネジメントを司る伝建DMO等の設置が必須である。

日本遺産(27・28年度)

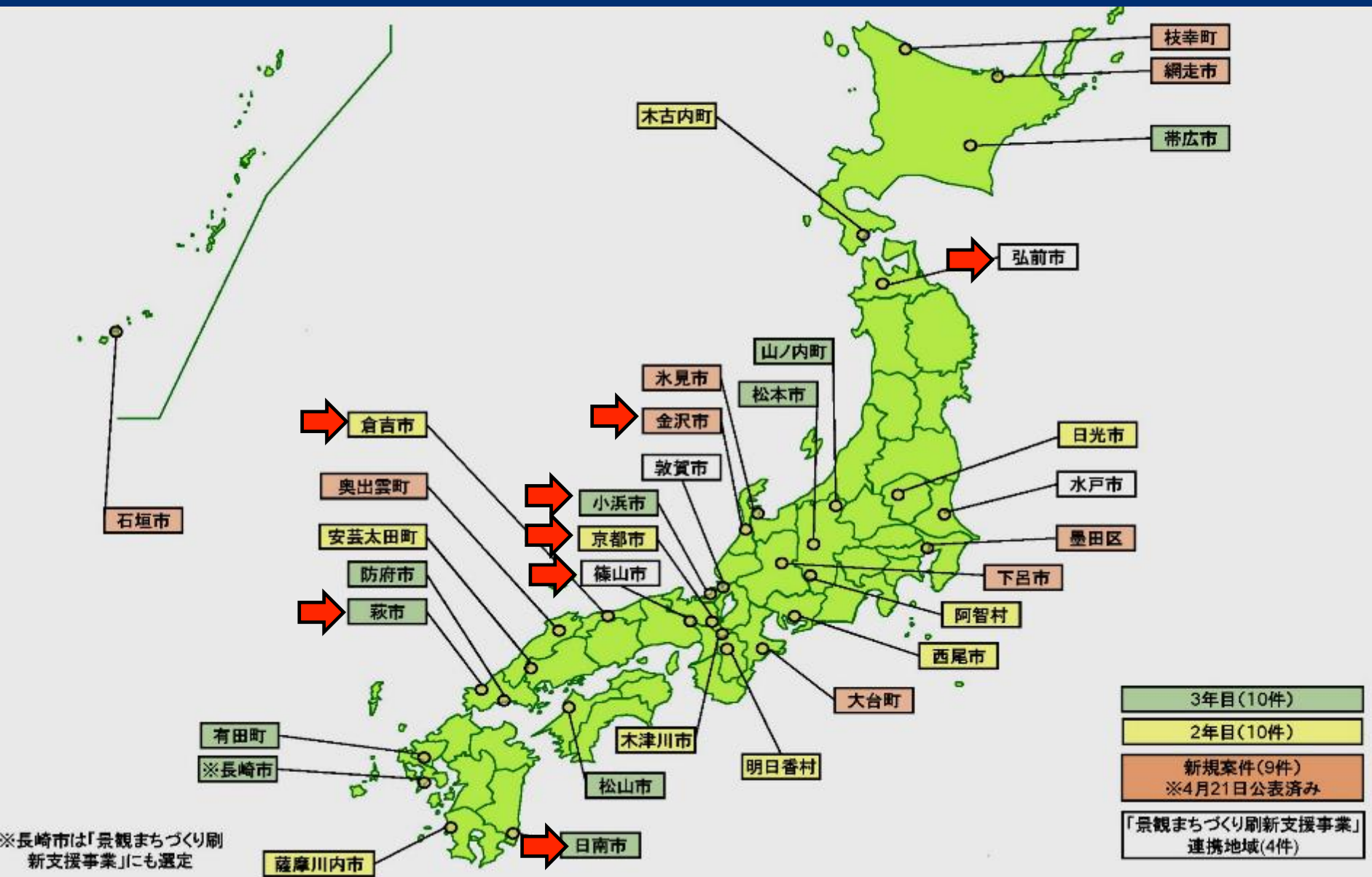
平成29年度認定

- ➡ ■ 江差町
- ➡ ● 酒田市他
- 鶴岡市
- 行田市
- 甲賀市・伊賀市
- ➡ ● 宮津町・京丹後市・与謝野長・伊根町
- ➡ ● 大阪府(大阪市・堺市他)・奈良県(葛城市他)
- ➡ ● 朝来市・姫路市他
- ➡ ● 和歌山市・海南市
- ➡ ■ 湯浅町
- ➡ ■ 出雲市
- ➡ ■ 倉敷市
- ➡ ● 備前市・越前町他
- 安田町他
- 北九州市・下関市
- 山鹿市他
- 中津市・玖珠町

➡ 印: 市内に「重要伝統的建造物群保存地区」があるところ



観光庁とのコラボ 地域資源を活用した観光地魅力創造事業



➡ 印： 市内に「重要伝統的建造物群保存地区」があるところ

現代文化とのコラボ センスの光る用途の開発



篠山ストリートアートフェスティバル



利益還元: 補助事業で修復した物件を活用

龍野アートプロジェクト



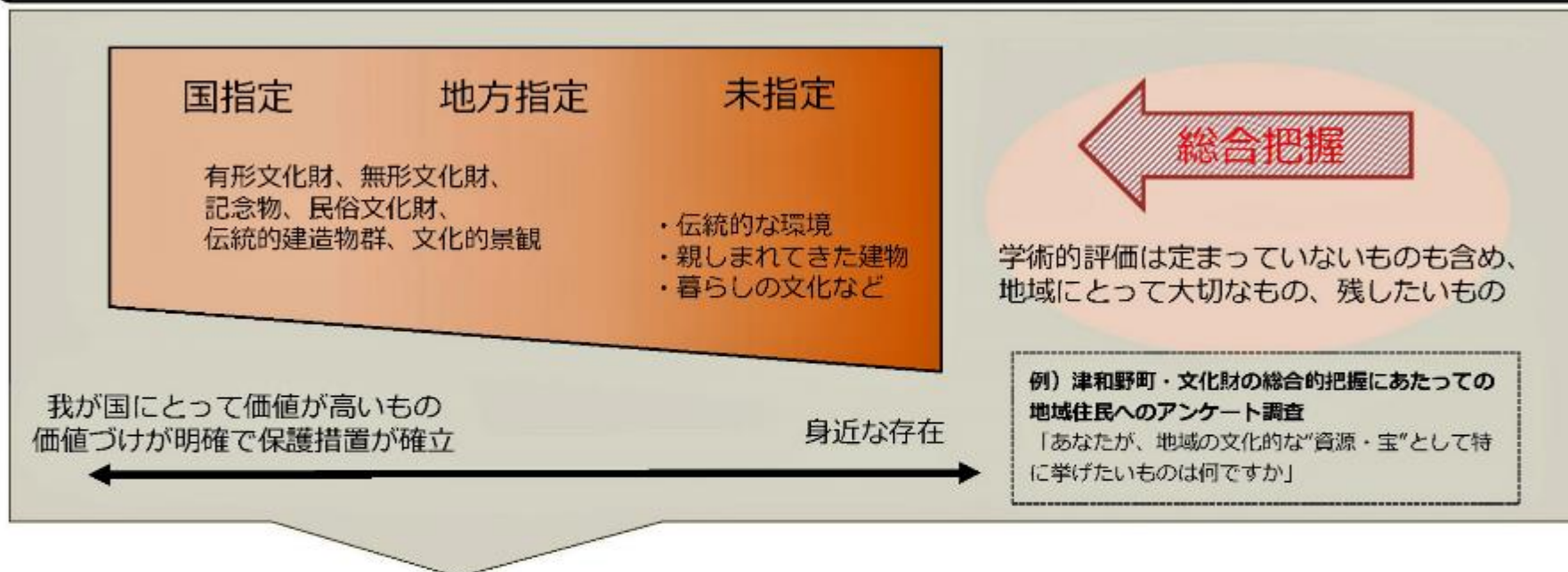
市主催のオータムフェスタ・HMの歴史的建造物を活かしたアートプロジェクト: コラボ



文化財の総体としての再評価・再発見とその効果

○地域の歴史・文化を形作る個々の資産には、指定物件にとどまらず、未指定文化財など地域にとって身近で、次世代に継承していくべき多くの歴史的・文化的資源が含まれる。

- これまで価値が発見されてこなかったこれらの資源の重要性を再認識することが必要
- 文化的豊かさの維持発展はもとより、地域社会・地域経済の活性化にもつながることに留意



地域の歴史・文化資源を一体的に再評価・再発見

→ その魅力発信が交流を生むなど地域社会・経済にも波及。地域を豊かにし保存と活用の好循環へ。

古民家とそれを囲む農山景観や
四季の行事など日本の原風景



写真提供：三好市

美しく保存された町並み、食・暮らし
など町の繁栄ぶりの追体験



写真提供：妻籠町観光協会

レンガ倉庫や土蔵群などの建物群、
若手の工房などで現代も交流拠点



写真提供：長浜市

信仰と密接に関連し山を歩きながら
社寺を巡り思想に触れる



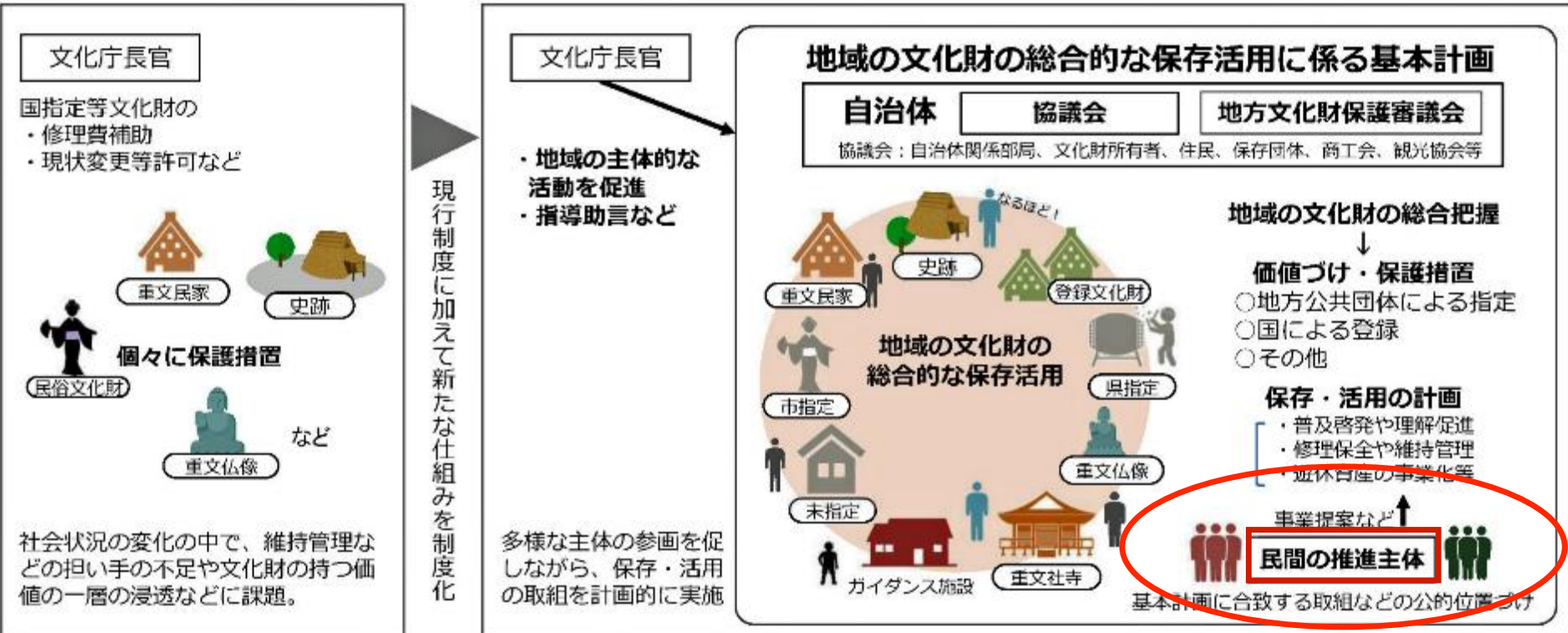
写真提供：鶴岡市

見直しの方向性 地域共通のビジョンに基づく総合的な保存活用へ

見直しの方向性

- 地域の歴史・文化をまちづくりの核としたアクションプランの策定
 - ・国による文化財の指定や支援制度に加え、地域の目指す方向性・ビジョンを明らかにするとともに、地域の文化財を総合的に把握し、関係者が団結して総合的に保存活用するための基本計画（以下、基本計画という。）を制度化。
 - ・計画を国が認定し、自治体の主体的な取組が促進される仕組み（権限委譲など）を検討。
 - ・計画に基づく取組への支援を検討するとともに、自立的で持続的な活動への発展を目指す。
- 民間の推進主体となる法人の位置づけ
 - ・全体の計画に基づき、地域の文化財の総合的な保存活用に資する事業を自立的に推進する事業体。
 - ・基本計画の趣旨に合致する取組を行う法人・事業を自治体が指定・認定するなど公的位置づけを明確化。

イメージ（個別の保護措置から総合的な保存活用へ）



見直しの方向性「民」とのパートナーシップの強化

民間団体の活躍が期待される活動内容

基本計画をともに推進する民間団体 (P.4)

= 基本計画策定地域について制度化

(想定しうる様々な活動)

○文化財の活用・普及

- ・ガイド育成
- ・街歩きツアー・体験プラン
- ・情報発信、ふるさと学習
- ・寄附・外資ファンディング等

○整備・開発

- ・案内版や休息施設
- ・遊休歴史的資源活用に向けたマッチング・事業化等

○保存修理

- ・修理整備の相談対応
- ・歴史的建造物等の調査
- ・研修
- ・清掃や維持管理等

○付帯事業

- ・カフェ
- ・レンタルサイクル
- ・駐車場
- ・レストラン
- ・お土産・物産販売等

所有者とともに個別の文化財の 保存・活用を担う人材・組織 (P.9)

= 保存活用計画とセットでの全国的な制度化

○個別の文化財の保存・活用

- ・保存活用のプランニングを所有者に提案
- ・所有者の意向を踏まえ自ら管理・修理・公開等

- どのような活動を期待するか（業務内容）や、公的な位置づけの仕組み・要件（資質担保）、指導監督などについて検討が必要

（公的な位置づけの仕組みの例）

基本計画策定主体が
法人を指定する

（他法令での制度化の類例）

- 歴史まちづくり法の「歴史的風致維持向上支援法人」
- ・市町村長が一般社団・財団法人・特定非常利活動法人から指定できる
- ・支援法人の業務：
歴史的風致維持向上施設の整備に関する
知見者派遣、情報提供、相談等、整備事業
実施等、歴史的風致形成建造物の管理・
修繕への助言・援助、調査研究など

基本計画策定主体が
事業を認定する

（他法令での制度化の類例）

- 中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律に
おける「地域産業資源活用事業計画
の認定」
- ・中小企業者が地域産業資源活用事業
に関する計画を都道府県を経由して
主務大臣に提出、認定

など

- 現行制度を整理のうえ、制度導入の範囲、新入材の要件、資質担保、指導監督など検討が必要

管理責任者

- ・特別の事情があるとき、所有者が、適当な者をもつばら自己に
代り当該文化財の管理の責に
任すべき者に選任

管理団体

- ・所有者が判明しない場合又は所有者もしくは管理責任者による管理が著しく困難もしくは不適当であると明らかに認められる場合に文化庁長官が指定

- また、所有者の財産権との整理が必要

- ・所有者とともに保存活用計画を作成することを必須とする
など、所有者の意向を踏まえた取組であることの担保が必要